

大阪高体連サッカー部 公 式 記 録	会場責任者	主審サイン
	三宅 愛	筒井 雅俊

戦評者氏名（安 尾 俊 輔）	勤務先又は所属（大阪府立守口東高等学校）
<p>大商学園、大阪桐蔭共に1-4-4-2のフォーメーション。雨の影響でピッチが非常にスリッピーな状態でキックオフした。立ち上がりから大商学園はDF4伊藤の正確なロングボールから大阪桐蔭DFラインの背後のスペースを狙い試合のペースを掴んでいく。その中で、大商学園FW⑩高木のボールキープから2列目の選手が前線へ抜け出し、パスを受けPA中央右でファールを受けること、そのFKをDF4伊藤がゴールキーパーとの駆け引きを制し、直接決めた。</p> <p>大阪桐蔭はFW⑪林のポストプレーから攻撃を展開し、少しずつリズムを作っていた。どちらもハードワークが徹底され、ボールの奪い合いの時間が続く中で、大阪桐蔭は前線からのプレッシャーで相手のミスを誘い、GKへのバックパスをFW⑬片本が奪い、ゴールへ流し込み同点に追いついた。同点後は互いにチャンスを作るも、両チームDF陣が集中した守備と粘り強い対応でゴールを許さない展開が続いた。後半に入り、大商学園はMF⑧北岡、MF⑦大住を投入しボールセッション率を上げながら試合を支配しつつ、チャンスを作るも、大阪桐蔭DF⑤水上を中心とした守備を最後まで崩せなかった。大阪桐蔭もサイド突破からGK前まで合わせるも決められず、互いにチャンスを生かすことができず同点のまま試合は終了した。</p>	